

第5章 小田急多摩線（唐木田～新百合丘）

2022年5月18日（水）快晴、小田急多摩線の唐木田駅から新百合丘駅までの営業キロ10.6kmをリベンジする。この区間は、2000年7月23日（日）、長男の20歳の誕生祝記念に歩いたが、駅舎到着時刻や駅舎写真がないため再挑戦となった。22年前の記憶は全く忘却していた。唯一記憶が残っていたのは若葉台という地名だろうか。



※唐木田駅

22年前には”はるひ野駅”はなかったような気がする。それ故、小田急永山駅からはるひ野駅への踏破は、22年前に比べてより難しかったような気がする。2016年6月に踏破した函館本線の姫川駅（現在廃駅）や東山駅（現在廃駅）を思い出した。今回は新設で廃駅とは異なるが。鉄道つたい歩きは、得てして、利用度の少ない秘境駅への踏破に苦労が多いような気がする。



※新百合ヶ丘駅

最近のウォーキングの中では難しく感じた区間であった。営業キロ 1.9 km に 2 時間 6 分要する。大きな要因は、首都圏のエリアだと思い”永山”を山扱いにせずに丘扱い位の感で臨んだからだ。そのため、鉄道はトンネルだが、幹線道路は山の裾を迂回することを余儀なくされた。加えて、22 年前踏破したため、事前勉強や地図を持参せずに臨んだため、住宅街を 1 周する場面や 22 年前と同じ過ちを繰り返した。10 人位の人の世話になりやっと到着できる。でも面白い区間であった。



※地図で確認した結果、はるひ野駅への道筋は、若葉台駅（京王線）経由しかないと判明。そう言う意味では、何回も右往左往したが、今回も正しい行程であった。

これで通算営業キロは **1万3千250 km (歩き日数 648 日、日本の鉄道の 47.8%)** となる。同時に **地球円周の 3分の1 到達まで 84 km** に迫る。

本日の各駅舎立ち寄り時刻は、次の通り。

唐木田 (10:48) ~ 小田急多摩センター (11:23) ~ 小田急永山 (12:20) ~ はるひ野 (14:26) ~ 黒川 (14:54) ~ 栗平 (15:50) ~ 五月台 (15:50) ~ 新百合丘 (16:25)

後編に続く！！

①唐木田駅で暫く立ち止り、駅舎の周辺の写真を撮影してから、小田急多摩センター駅を目指す。10時59分、秋葉神社で本日の安全を祈願する。11時7分、小田急線下を潜る。暫く行った先で京王線下を潜り、両線を右手にして歩く。ここから、永山駅まで小田急線と京王線が並走する。11時23分、京王線の多摩センター駅経由して歩いた先に小田急多摩センター駅があった。近くには沢山のマンションがあった。



※唐木田駅



※小田急多摩センター駅への路、秋葉神社



※小田急多摩センター駅



※小田急多摩センター駅、小田急永山駅への路

②11時28分、縄文の村展示ホールがあり、10分位立ち止って館内に展示された作品を鑑賞する。縄文時代から江戸時代にかけて、土器などの作品が年代別に整理されていた。11時45分、小田急線・京王線下を潜り、鉄道の左側を歩く。暫く行った先で再度両線を潜り、急な階段を上り、幹線道路に出ようとする。しかし、工事現場の方にお伺いする機会があり、「この路を真っ直ぐ進んでも永山駅に行けますが、遠回りですよ。引き返し、鉄道下を潜り、道なり歩くのが近道ですよ」と教えて頂く。この方のご提示頂いた道筋で、途中まで引き返し永山駅に向かう。道なりに歩いた先に小田急永山駅（12時20分）があった。この駅も京王線永山駅経由してあった。運よくランチ時に駅構内に”箱根そば”を見かけたので、ランチタイムとする。最近では、飲食店でのランチは久しぶりである。眠くなる恐れと夕方の飲み会がまずくなるので最近では敬遠していた。



縄文の村・展示ホール



※小田急永山駅への路



※小田急永山駅



※はるひ野駅への路

③永山駅からはるひ野駅の行程は、山と住宅が前方を立ち塞がり、紆余曲折を余儀なくされる。ウォーキングを終えて自宅で本日の歩き行程を地図で確認したところ、何人も方のお世話頂いたお蔭で、最短コースではるひ野駅を踏破できたと思われる。最短コースとは、永山駅（12:20）～諏訪南公園～多摩東公園（13:34）～ガソリンスタンド～多摩市から稲城市となる（13:42）～京王車両基地～京王線若葉台駅（14:06）～マクドナルド～はるひ野駅（14:26）。迷い路の中で、諏訪小学校や都営諏訪団地が登場する。多摩東公園界隈で地下に潜った小田急線や京王線を跨ぐ。



※はるひ野駅への路、多摩東公園、ガソリンスタンド界限



※多摩市から稲城市へ、若葉台駅

今振り返ってみると、少なくとも地図を持参していれば、迷うことなく歩けただろう。また、道筋でお世話になった方の案内ルートは理解できただろう。しかし、地図が頭に入っていなかったため、折角教えて頂いた道筋が理路整然として入らずチンプンカンプン。それ故、同じような道筋を何人もの人に聞く事態となる。地図が頭に入っていないと、折角親切に教えて頂いた道筋も水泡に期すおそれがあると痛感する。函館本線の姫川駅を思い出した。しかし、兎にも角にも、はるひ野駅に無事到着できホットする。坂を上り、京王線を500m位戻り、左折した先に駅舎はあった。まだまだ歴史が浅いので、駅前にはひっそりしていた。駅近くには小田急線のトンネルがあった。



※はるひ野駅への路



※はるひ野駅

④黒川駅の道筋は、京王線の若葉台駅まで戻り、鶴川街道の道筋を歩く。暫く歩くと小田急線の高架した鉄道が見える。その下を潜り、200m位歩いた先に黒川駅(14時54分)があった。この駅は迷うことなく踏破できる。柿生に向かう道路を淡々と歩く。暫く歩いた先で坂道があり、この坂道を上り、鉄道に沿って歩いた先に栗平駅(15時20分)があった。この駅は、柿生に向かう幹線道路とかなりの高低差があった。



※黒川駅への路、黒川駅



※黒川駅、栗平駅



※栗平駅、五月台駅への路

⑤栗平駅から暫く、鉄道に沿って歩く。15時33分、白鳥神社があった。15時43分、高架した小田急線下を潜り、鉄道の左側を歩く。急な坂道を上った先に五月台駅（15時50分）があった。15時58分、小田急線を跨ぐと、たかおね橋に到達。この跨線橋を渡ろうとするが、線路の方向線を鑑み渡らず、20m位引き返す。そして、小田急線に沿った住宅街の路地を歩く。遠く下には新百合丘の街並みが続いていた。坂を下り、鉄道に近づいた先に本日の終着駅の新百合丘駅（16時25分）あった。22年前と比べ、新百合丘駅前の目覚ましい発展には驚いた。



※五月台駅への路、五月台駅



※五月台駅、遠くに新百合丘駅



※新百合丘駅への路



※新百合丘駅

それにしても、小田急多摩線はアップダウンの激しい路線であった。フラットな江ノ島線と比べ好対照であった。小田急多摩線の踏破が終え、小田急電鉄への踏破は、東海大学前駅から相模大野駅までの営業キロ 24.7 kmとなる。